

協和中央病院における勤務医 負担軽減計画

令和7年4月現在の勤務医の勤務状況予定	
1. 医師数 常勤 14 名 短時間正規雇用勤務医(週3日以上)3 名 非常勤 36 名	
2. 他医療機関からの当直医師数 9 名	
3. 常勤医師平均業務時間 平均 40.7H	
4. 当直回数 平均 0.5 回(最大 3 回、最小 0 回)	

目標
○当院では、従来より、勤務医の勤務状況を把握し、改善すべき点について、各診療科の責任者への指導により対応してきたが、勤務医の負担軽減を進めるためには、コメディカルを含めた各診療部の協力体制が必要であることから、平成20年度より、医政局の役割分担通知に基づき、医師が担っていた業務等を多職種への分担を進めており、今回もこれを推進することを目標とする。

分野	現状	対応方針	目標達成のために必要な手順	達成状況		
				令和6年3月	令和7年3月	令和8年3月
医師確保	常勤医確保が困難のため勤務医の業務負担が大きくなってきている	常勤医ならびに短時間正規職員の確保	常勤医ならびに短時間正規職員の確保	■ 勤務医の確保（週4日勤務、1名着任）	■ 勤務医の確保（週4日勤務、1名着任予定）	□ 勤務医の確保
	常勤医が少ないため、日当直負担が大きい	休日、夜間当直 非常勤医師の確保	休日、夜間当直の非常勤医確保による常勤医当直の負担軽減	■ 休日、夜間当直非常勤医師の確保	■ 休日、夜間当直非常勤医師の確保	□ 休日、夜間当直非常勤医師の確保
常勤医師の勤務軽減	内科常勤医師午後外来の軽減	午後の外来は非常勤または予約のみ外来に変更	常勤医師が少ないため午後の外来は極力非常勤医師の外来又は予約のみの外来とし勤務軽減を図る	■ 午後の外来は極力非常勤医師の外来又は予約のみの外来実施	■ 午後の外来は極力非常勤医師の外来又は予約のみの外来実施	□ 午後の外来は極力非常勤医師の外来又は予約のみの外来実施
	常勤医が少ないため、当直の負担軽減	急性期病院の当直を非常勤医へシフト	常勤医の急性期病院の当直を非常勤医へシフト。当直回数は平均月3回以内とする。		■ 法人内の療養型病院当直へシフトし、当直回数を概ね月3回までとした。	□ 法人内の療養型病院当直へシフトし、当直回数を概ね月3回までとする。
	勤務医の勤務時間が自己申告のため勤務時間の把握ができていない	勤務状況の把握等	勤務時間の具体的な把握方法(タイムカード管理)勤務時間以外についての勤務状況の把握		□ タイムカード管理が不十分であった。	□ タイムカード管理、勤務時間以外についての勤務状況の把握
歯科医師の介入	嚥下のリスクが高い患者に対してはスクリーニングとしての評価方法のみ	歯科医師による嚥下障害患者の検査介入	経鼻細径内視鏡による嚥下機能評価や嚥下機能評価指導実施による退院促進	■ 経鼻細径内視鏡による嚥下機能評価や嚥下機能評価指導実施	■ 経鼻細径内視鏡による嚥下機能評価や嚥下機能評価指導実施	□ 経鼻細径内視鏡による嚥下機能評価や嚥下機能評価指導実施
医師事務作業補助者の配置	平成25年4月より医師事務補助者常勤換算10名以上配置	医師事務補助者増員	平成25年4月より医師事務補助者常勤換算10名以上配置	■ 電子カルテ導入による外来予約、処方箋代行入力実施	■ 電子カルテ導入による外来予約、処方箋代行入力実施	□ 電子カルテ導入による外来予約、処方箋代行入力実施
	問診記載の補足質問の実施	外来における医師事務補助業務拡大	外来における医師事務補助業務拡大に向けた手順書作成ならびに教育(OJTを含む)実践	■ 問診記載の補足質問の実施一部施行	■ 問診記載の補足質問の実施一部施行	□ 問診記載の補足質問の実施一部施行
看護業務	看護師による静脈注射ライン確保の実施	看護師による静脈注射の対象拡大	静脈注射に関する研修の実施及びマニュアル作成	■ 研修も含め、静脈注射に対応	■ 研修も含め、静脈注射に対応	□ 研修も含め、静脈注射に対応
	ストーマ外来および創傷ケア支援	創傷ストーマ設置支援(マーキング)	認定看護師配置で特定行為研修を修了した職員配置	■ 認定看護師配置	■ 認定看護師配置	□ 認定看護師配置
	摂食嚥下障害支援	認定看護師の配置摂食嚥下支援強化	摂食障害認定看護師配置	■ 認定看護師配置	■ 認定看護師配置	□ 認定看護師配置

	タスクシフィ テ ングの強化	認知症領域にお ける特定行為	認知症看護認定看護師 で特定行為研修を修了 した職員配置		■	特定行為研修を 修了した看護師 配置	□	特定行為研修を 修了した看護師 配置	
	退院時調整業務 の実施	退院調整部門との 連携強化	退院調整業務の強化の ため、退院調整部門専 任看護師 1 名程度配置	■	専任退院調整看 護師を配置	■	専任退院調整看 護師を配置	□	専任退院調整看 護師を配置
	タスクシフィ テ ングの強化	ろう孔管理関連、動 脈血ガス分析関連 の看護師特定行為	ろう孔管理関連、動脈血 ガス分析関連の看護師 特定行為研修を修了し た職員配置				□	専任退院調整看 護師を配置	
	薬用量、使用法、 相互作用など処 方内容の確認	・抗がん剤の無菌 製剤、抗がん剤治療 計画のチェック、中 心静脈栄養輸液に 実施	無菌製剤処理室の設置、 運営	■	無菌製剤処理室 を設置し、薬剤 師がすべて施行	■	無菌製剤処理室 を設置し、薬剤 師がすべて施行	□	無菌製剤処理室 を設置し、薬剤 師がすべて施行
薬剤管理	化学療法の多い 病棟におけるレ ジメン管理			■	すべて薬剤師管 理業務として施 行	■	すべて薬剤師管 理業務として施 行	□	すべて薬剤師管 理業務として施 行
	病棟患者持参薬 の管理			■	すべて薬剤師管 理業務として施 行	■	すべて薬剤師管 理業務として施 行	□	すべて薬剤師管 理業務として施 行
	病棟患者の服薬 指導			■	すべて薬剤師管 理業務として施 行	■	すべて薬剤師管 理業務として施 行	□	すべて薬剤師管 理業務として施 行
	新規薬情報、書改 定情報と副作用 情報、必要な場合 の医師への情報 提供の実施			■	すべて薬剤師管 理業務として施 行	■	すべて薬剤師管 理業務として施 行	□	すべて薬剤師管 理業務として施 行
	医師の継続処方 の入力の実施	継続処方の代行入 力のため薬剤師の 増員	医師指示のもと、継続処 方の代行入力の実施予 定	■	医師指示のも と、継続処方の 代行入力の実施	■	医師指示のも と、継続処方の 代行入力の実施	□	医師指示のも と、継続処方の 代行入力の実施
	病棟薬剤師の配 置	薬剤師の増員	病棟薬剤師を配置	■	病棟ごとに担当 薬剤師配置	■	病棟ごとに担当 薬剤師配置	□	病棟ごとに病棟 薬剤師配置予定
	医療機器の効率 的な中央管理	病棟呼吸器装着患 者に対する定期的 な機器設定管理お よび安全管理		■	医療機器専任看 護師を設置 し、医療機器を 中央管理	■	医療機器専任臨 床工学士を設置 し、医療機器を 中央管理	□	医療機器専任臨 床工学士を設置 し、医療機器を 中央管理
医療機器 管理	外来患者につい ては、中央採血に て採血、病棟患者 については看護 師が採血			■	外来中央採血実 施	■	外来中央採血実 施	□	外来中央採血実 施
検査業務	診療支援業務	・栄養サポートチーム (NST)、感染対策チ ーム(ICT)等における 診療支援業務実施	・NST,ICT 等のチーム において臨床検査技師 が行う業務についての 整理	■	一部実施	■	一部実施	□	一部実施
	診療支援業務	臨床検査技師の増 員	夜間、休日365日24 時間体制	■	365日24時 間体制実施	■	365日24時 間体制実施	□	365日24時 間体制実施
	患者説明	臨床検査技師の増 員	自己血糖測定装置説明	■	採血室内ですべ て実施	■	採血室内ですべ て実施	□	採血室内ですべ て実施
栄養管理	病棟患者の栄養 状態管理、栄養指 導を施行	管理栄養士の病棟 支援、NST の強化	管理栄養士の病棟担当	■	入院病棟担当に よる栄養管理支 援	■	入院病棟担当による 栄養管理支援	□	入院病棟担当に よる栄養管理支 援
院内保育	・24 時間保育 ・医師、看護師等 の乳幼児受け入 れ実施			■	24 時間保育実施 (保育士 6 名体制)	■	24 時間保育実施 (保育士 4 名体制)	□	24 時間保育実施 (保育士 4 名体制)